

平成26年度 学校心臓検診集計結果報告書

静岡県医師会学校保健対策委員会 学校心臓検診結果検討小委員会

委員長	上田	憲	(静岡市静岡医師会)
副委員長	長尾	正明	(静岡県医師会)
委員	龍神	美穂	(沼津医師会)
	渡邊	正規	(富士市医師会) (～ H26.6.21)
	中山	豊明	(富士市医師会) (H26.7.10 ～)
	向井	英之	(静岡市清水医師会)
	大川	雅龍	(榛原医師会)
	井上	康夫	(浜松市医師会)
	深澤	ちえみ	(富士宮市立病院)
	田中	靖彦	(静岡県立こども病院)
	岩島	覚	(浜松医科大学医学部附属病院)

※この報告書は静岡県医師会ホームページでもご覧いただけます。 <http://www.shizuoka.med.or.jp/child/index.html>

平成26年度 学校心臓検診集計に寄せて

平成26年度の学校心臓検診の集計がまとまりましたのでご報告いたします。いつもながら面倒な集計作業に快くご協力くださった学校長・養護教諭の諸先生、県および市町教育委員会、郡市医師会ならびに関係の諸先生に深謝申し上げます。また精検・追跡調査表の記載に貴重な時間を割いてご協力いただいた精密検査担当医療機関の先生にも厚く御礼申し上げます。加えて、再調査のお願いに対してご丁寧に返信をいただいた先生にも重ねて御礼申し上げます。

以下に本年度の集計結果に関するコメントを述べさせていただきます。

なお、小学校4年生については、実施自治体が436校と少し増えたものの85.8%と未だ全県下で実施されていないため、参考データとしておりコメントの対象にはなっていません。

一次検診の総受診率は在籍者数88,019人に対して87,904人（99.9%）で良好でした。一次検診の未受診者総数は昨年の129人から減少して115人ですが、主治医受診者が7人いるのでまったく検診を受けていないのは108人で0.1%となります。

なお、本集計には県教育委員会が管轄する公立小学校、中学校、高校のみが対象となっているため、一部の小中学校とかなりの高校が対象外となっています。とくに高校では在籍者数が中学校の32,831人から約3分の1に当たる10,500人減ですので、これらのこども達に心臓検診がどのように実行されているのか気になります。調査方法などには困難を伴いそうですが、今後の検討課題と考えられます。

一次検診者のうち要精検者は受診者の2.9%で昨年とほぼ同じでした。学年別では、小1が3.2%、中1が2.8%、高1は2.6%でした。要精検者のうち実際に精密検査を受けているのは87.9%と昨年より1%減少し、未受診者は311人に達します。うち200人は主治医に経過観察されていて、指導表の提出期間に間に合わずに未受診扱いになったのかも知れません。ただし、本検診は学校入学年度に行われているので、新規入学の学校における運動管理の指標となる指導表の提出は不可欠と思われます。残りの111人は精密検査を受けていないと考えられ、安全に学校生活をおくるため、特に運動に関する管理が学校でどうなっているのか危惧されます。学校管理下の事故を避けるためにも、管理漏れは極力なくしていく努力が必要と考えられます。教育委員会との協議会の場でも注意を促したいと思います。

要管理者総数は819人と昨年の904人から大きく減少し、率の上でも一次検診受診者数の0.9%で昨年の1%から減少しました。

I. 器質異常の新規発見者総数は39人で昨年の49人から減少しています。主な疾患として、12人の心房中隔欠損症（ASD）が見つかっています。小1の7人に加えて中1が4人、高1が1人発見されています。ASDに関しては、年長になると体型の変化から心音が聞こえにくくなるので、喧噪の中で実施される内科検診の時に心雑音を検出する事は困難になります。不完全右脚ブロック所見がある場合は、精密検診でASDのチェックが大切ですが、心雑音ははっきりしないなど聴診所見が非典型的な場合もあるので、一度はエコー検査で確認しておくことが望まれます。その他にも心室中隔欠損症が小1で2人、中1で1人診断されていますが、ASD同様に本年は減少しました。また、新規の心筋症は肥大型（HCM）が中1で1人、高1で2人でしたが、既往の肥大型4人（内2人は術後）と共に常に注意が必要と考えられます。

II. 心電図・心音図異常の新規管理者は395人でした。多いものは例年どおり心室性期外収縮です。単源性の206人（小1：69人、中1：91人、高1：46人）はまず問題のないものですが、多源性連発等15人、心室頻拍症4人に関しては注意が必要です。

1度、2度の房室ブロックによる要管理者は18人（小1：2人、中1：3人、高1：13人）と昨年の21人

より少し減少しました。1度の房室ブロックは運動負荷でPRが正常化すれば管理不要に、2度ブロックもWenckebach型は運動負荷により正常伝導になれば管理不要となるものです。単源性上室性期外収縮での要管理者34人(小1:7人、中1:16人、高1:11人)は昨年とほぼ同じでした。右脚ブロックも13人(小1:6人、中1:4人、高1:3人)が管理されていますが、エコー検査で心疾患が否定されれば、ほとんどの例で管理不要と思われます。これら以外では、PQ短縮(WPW症候群など)が小学生23人、中学生13人、高校生5人に認められました。QT延長は小学生3人、中学生9人、高校生4人に認めましたが、コンピューター自動分析ではFridericia法の補正が望ましく、確認にはマニュアル計測での接線法が推奨されています。

Ⅲ. 既往異常は以前から指摘があった117人でしたが、大多数を占める川崎病は小1で90人(うち3人は術後)、中1で7人、高1が2人の合計99人でした。

なお、本年度も診断と「しおり」の管理基準が合致しないケースについては、本委員会で検討の上再調査をさせていただきます。再調査対象件数は70件で昨年とほぼ同数でした。そのうち変更なし23件、未回答8件、その他5件、管理区分の変更は34件でした。管理区分を変更した34件のうちDからE可が単源性心室性期外収縮の1件、E可から管理不要が33件と全例で管理が軽減されました。

24年度の「結果報告」の中にも記載しましたが、県医師会の本委員会と県教育委員会の関係については、協議が26年度に合議に至り27年度からは本委員会は県教育委員会の依頼を受けた県医師会の事業として明文化される事になりました。

本委員会の立場が明確になった事で作業効率なども改善し、今後はより充実した検診結果検討委員会としてお役に立てればと考えています。

静岡県医師会学校保健対策委員会

学校心臓検診結果検討小委員会 委員長 上田 憲

平成26年度 学校心臓検診集計結果の概略

区 分	在籍者数	一次検診受診者数	内、要精検者数	要 精 検 者 数 の 内 訳							一次検診未受診者数の内訳		
				精密検査受診者数の内訳				精密検査未受診者数の内訳			一次検診未受診者数の内訳		
				精密検査受診者総数	指導区分の内訳			精密検査未受診者総数	内 訳		一次検診未受診者総数	内 訳	
					①要管理	②管理不要	③その他		①主治医受診	②その他		①主治医受診	②その他
小学校1年生	32,857	32,833	1,046	917	331	580	6	129	76	53	24	2	22
中学校1年生	32,831	32,762	929	813	331	479	3	116	75	41	69	3	66
高等学校1年生	22,331	22,309	587	521	157	361	3	66	49	17	22	2	20
計	88,019	87,904	2,562	2,251	819	1,420	12	311	200	111	115	7	108
小学校4年生	29,325	29,290	729	625	231	388	6	104	61	43	35	1	34

注) 小学校4年生については、検診実施校に対して報告を求めたものであり、必ずしも県下全ての小学生の検診結果を示すものではありませんのでご注意ください。なお、本年度は436校より報告をいただきました(実施率85.8%)。

平成26年度学校心臓検診「再調査」による指導区分の変更について

○再調査対象件数 70件



① 指導区分の変更あり	34
② 指導区分の変更なし	23
③ 未回答 (担当医異動等により返送されたものを含む)	8
④ その他	5
計	70

○指導区分の変更あり (34件) の内訳

1. D→E可 1件

所見名	件数
心室性期外収縮 (単源性)	1

2. E可→管理不要 33件

所見名	件数
I度房室ブロック	9
川崎病	4
II度房室ブロック	3
房室解離	3
不完全右脚ブロック	3
上室性期外収縮	3
完全右脚ブロック	2
右軸偏位	1
不完全右脚ブロック、軽度左軸偏位、三尖弁閉鎖不全	1
心室性期外収縮	1
冠動脈洞拡大疑い、三尖弁逆流	1
接合部調律	1
所見なし	1
計	33

※ 以下の集計結果は、再調査により当初の指導区分が変更されたこれらの結果を踏まえたものとなります。

小学校1年生

注) 指導区分「A」「B」「C」の該当者なし

項目	指導区分			E禁			E可			小計			合計	
	既往		新規	既往		新規	既往		新規	既往		新規		
	術後	未		術後	未		術後	未		術後	未			
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)			1			20	13	7	21	13	7	41	
	心室中隔欠損症 (VSD)			3			37	36	2	40	36	2	78	
	動脈管開存症 (PDA)						4			4			4	
	ファロー四徴症 (TF)	1		4			11			16			16	
	肺動脈弁狭窄症 (PS)						8	9	2	8	9	2	19	
	その他の先天性心疾患	2		4			18	12	4	24	12	4	40	
	僧帽弁逸脱症 (MVP)							2	1		2	1	3	
	心筋症-①肥大型 (HCM)													
	心筋症-②拡張型 (DCM)													
	川崎病後遺症		1					2			3		3	
	その他の器質異常	1	1		5			4	5	1	10	6	1	17
	器質異常 小計①	4	2		17			102	79	17	123	81	17	221
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位													
	左軸偏位						2		1	2		1	3	
	P波の異常													
	右心室肥大 (RVH)	1		2			1		2	4		2	6	
	左心室肥大 (LVH)			1						1			1	
	洞房ブロック								1			1	1	
	I° 房室ブロック			1						1			1	
	II° 房室ブロック								2				2	2
	III° 房室ブロック													
	房室解離													
	右脚ブロック			1			8	3	6	9	3	6	18	
	左脚ブロック (LBBB)								1			1	1	
	PQ短縮 (WPW等)							2	23		2	23	25	
	QT延長								3			3	3	
	異常Q波								1			1	1	
	ST・Tの異常								3			3	3	
	上室性期外収縮 (①単源性)							2	7		2	7	9	
	上室性期外収縮 (②多源性・連発等)							1	1		1	1	2	
	心室性期外収縮 (①単源性)							11	69		11	69	80	
	心室性期外収縮 (②多源性・連発等)			1					1			2	2	
上室性頻拍症 (SVT)								1	1		1	2		
心室性頻拍症 (VT)			1								1	1		
その他の心電図異常						1		2	1		2	3		
心音図異常							1	1		1	1	2		
心電図・心音図異常 小計②	1		2	5			12	21	125	18	21	127	166	
既 往 異 常	川崎病 (MCLS)	1					2	87		3	87		90	
	検診等で異常追跡中													
	心疾患で経過観察中						1	2		1	2		3	
	その他													
既往異常 小計③	1					3	89		4	89		93		
家 族 歴								1			1	1		
総 計 A (①+②+③)	6	2	2	22			117	189	143	145	191	145	481	
重複所見調整 B	2	1	1	8			25	13	22	35	14	23	72	
要管理者実人数 (A-B)	4	1	1	14			92	176	121	110	177	122	409	
指導区分別合計	6			14			389			409				

中学校1年生

注) 指導区分「A」の該当者なし

項目	B		C			D			E禁			E可			小計			合計
	既往	新規	既往	新規	既往	新規												
	術後	未	術後	未	術後	未												
器質異常																		
心房中隔欠損症 (ASD)									1			11	4	4	12	4	4	20
心室中隔欠損症 (VSD)			1						1			33	30	1	35	30	1	66
動脈管開存症 (PDA)												7			7			7
ファロー四徴症 (TF)									3			3			6			6
肺動脈弁狭窄症 (PS)						1						3	10		4	10		14
その他の先天性心疾患						2			8			21	21	4	31	21	4	56
僧帽弁逸脱症 (MVP)							1						6			7		7
心筋症-①肥大型 (HCM)	1							1					1	1	2	1	1	4
心筋症-②拡張型 (DCM)																		
川崎病後遺症																		
その他の器質異常				2		1	1		2			7	4	5	12	5	5	22
器質異常 小計①	1			3		5	2		15			85	76	15	109	78	15	202
心電図・心音図異常																		
右軸偏位														1			1	1
左軸偏位	1						1					1		2	3		2	5
P波の異常													1			1		1
右心室肥大 (RVH)						1						1			2			2
左心室肥大 (LVH)	1													1	1		1	2
洞房ブロック														1			1	1
I° 房室ブロック												2		2	2		2	4
II° 房室ブロック													1	1		1	1	2
III° 房室ブロック																		
房室解離																		
右脚ブロック									1			3	2	4	4	2	4	10
左脚ブロック (LBBB)													1	1		1	1	2
PQ短縮 (WPW等)												2	25	13	2	25	13	40
QT延長							1						13	9		14	9	23
異常Q波																		
ST・Tの異常						1							1		1	1		2
上室性期外収縮 (①単源性)													4	16		4	16	20
上室性期外収縮 (②多源性・連発等)													2	4		2	4	6
心室性期外収縮 (①単源性)													41	91		41	91	132
心室性期外収縮 (②多源性・連発等)														7			7	7
上室性頻拍症 (SVT)													2	2		2	2	4
心室性頻拍症 (VT)			1		1											1	1	2
その他の心電図異常				1	1								2	2	1	2	3	6
心音図異常																		
心電図・心音図異常 小計②	2		1	1	1	1	3	1		1		9	95	157	16	97	159	272
既往異常																		
川崎病 (MCLS)													7			7		7
検診等で異常追跡中												1			1			1
心疾患で経過観察中	1			1			2	1				1	2		5	3		8
その他								1					1			2		2
既往異常 小計③	1			1			2	2				2	10		6	12		18
家族歴												1			1			1
総計 A (①+②+③)	4		1	5	1	1	10	5		16		97	181	172	132	187	174	493
重複所見調整 B	3			2			6	2		4		19	17	31	34	19	31	84
要管理者実人数 (A-B)	1		1	3	1	1	4	3		12		78	164	141	98	168	143	409
指導区分別合計			2		5		7			12			383			409		

高等学校1年生

注) 指導区分「A」「B」の該当者なし

項目	指導区分			C			D			E禁			E可			小計			合計
	既往		新規	既往		新規	既往		新規	既往		新規	既往		新規	既往		新規	
	術後	未		術後	未		術後	未		術後	未		術後	未		術後	未		
器 質 異 常	心房中隔欠損症 (ASD)											4	5	1	4	5	1	10	
	心室中隔欠損症 (VSD)											13	19		13	19		32	
	動脈管開存症 (PDA)											2			2			2	
	ファロー四徴症 (TF)											4			4			4	
	肺動脈弁狭窄症 (PS)											1	3		1	3		4	
	その他の先天性心疾患								2			8	7	2	10	7	2	19	
	僧帽弁逸脱症 (MVP)												3	1		3	1	4	
	心筋症-①肥大型 (HCM)					1	1									1	2	3	
	心筋症-②拡張型 (DCM)																		
	川崎病後遺症												2			2		2	
	その他の器質異常												7	1		7	1	8	
	器質異常 小計①					1	1		2			32	46	6	34	47	7	88	
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位																		
	左軸偏位													1			1	1	
	P波の異常																		
	右心室肥大 (RVH)							1							1			1	
	左心室肥大 (LVH)													2			2	2	
	洞房ブロック													1			1	1	
	I° 房室ブロック												1	3		1	3	4	
	II° 房室ブロック											1	1	10	1	1	10	12	
	III° 房室ブロック												1	1		1	1	2	
	房室解離													2			2	2	
	右脚ブロック							1				2	3	3	3	3	3	9	
	左脚ブロック (LBBB)																		
	PQ短縮 (WPW等)												7	5		7	5	12	
	QT延長					1	1					1	2	3	1	3	4	8	
	異常Q波						1										1	1	
	ST・Tの異常						1						3	1		3	2	5	
	上室性期外収縮 (①単源性)												3	11		3	11	14	
	上室性期外収縮 (②多源性・連発等)													3			3	3	
	心室性期外収縮 (①単源性)											1	20	46	1	20	46	67	
	心室性期外収縮 (②多源性・連発等)								1	1		5	5		6	6	12	12	
上室性頻拍症 (SVT)					1							1	2	1	1	2	4		
心室性頻拍症 (VT)													2			2	2		
その他の心電図異常					1			1				1	4	2	1	4	7		
心音図異常																			
心電図・心音図異常 小計②					2	1	3	3	1	1	5	48	105	10	50	109	169		
既 往 異 常	川崎病 (MCLS)											2			2		2		
	検診等で異常追跡中											1			1		1		
	心疾患で経過観察中	1										1		1	1		2		
	その他												1			1	1		
既往異常 小計③	1										4	1	1	4	1	6	6		
家 族 歴												1			1		1		
総 計 A (①+②+③)	1			2	2	4	5	1	1	37	99	112	45	102	117	264	264		
重複所見調整 B				1		2	3			7	18	25	11	18	27	56	56		
要管理者実人数 (A-B)	1			1	2	2	2	1	1	30	81	87	34	84	90	208	208		
指導区分別合計		1			5			4			198			208					

参 考 小 学 校 4 年 生

小学校4年生については、検診実施校に対して報告を求めたものであり、必ずしも県下全ての小学生の検診結果を示すものではありませんのでご注意ください。なお、本年度は436校より報告をいただきました（実施率85.8%）。

注) 指導区分「A」「B」「C」の該当者なし

項目	指 導 区 分			E 禁			E 可			小 計			合計
	既往		新規	既往		新規	既往		新規	既往		新規	
	術後	未		術後	未		術後	未		術後	未		
器 質 異 常	心房中隔欠損症（ASD）						11	5	2	11	5	2	18
	心室中隔欠損症（VSD）						26	11		26	11		37
	動脈管開存症（PDA）							2			2		2
	ファロー四徴症（TF）						10			10			10
	肺動脈弁狭窄症（PS）				1		4	6		5	6		11
	その他の先天性心疾患	3			4	1	18	14		25	15		40
	僧帽弁逸脱症（MVP）						1	3		1	3		4
	心筋症－①肥大型（HCM）		1			1					2		2
	心筋症－②拡張型（DCM）												
	川崎病後遺症							1			1		1
	その他の器質異常				2	1	2	3	1	4	4	1	9
	器質異常 小計①	3	1		7	3	72	45	3	82	49	3	134
心 電 図 ・ 心 音 図 異 常	右軸偏位		1						1		1	1	2
	左軸偏位						1		1	1		1	2
	P波の異常												
	右心室肥大（RVH）				1					1			1
	左心室肥大（LVH）								1			1	1
	洞房ブロック								1			1	1
	I° 房室ブロック												
	II° 房室ブロック							1	3		1	3	4
	III° 房室ブロック												
	房室解離							1	1		1	1	2
	右脚ブロック						11	1	3	11	1	3	15
	左脚ブロック（LBBB）								1			1	1
	PQ短縮（WPW等）							10	12		10	12	22
	QT延長		1					8	8		9	8	17
	異常Q波												
	ST・Tの異常							1			1		1
	上室性期外収縮（①単源性）								6			6	6
	上室性期外収縮（②多源性・連発等）								5			5	5
	心室性期外収縮（①単源性）							35	53		35	53	88
	心室性期外収縮（②多源性・連発等）								2			2	2
上室性頻拍症（SVT）							3			3		3	
心室性頻拍症（VT）		1					1			2		2	
その他の心電図異常								1			1	1	
心音図異常													
心電図・心音図異常 小計②		3		1		12	61	99	13	64	99	176	
既 往 異 常	川崎病（MCLS）						22			22			22
	検診等で異常追跡中						2			2			2
	心疾患で経過観察中						3			3			3
	その他	1					1			1	1		2
既往異常 小計③	1					28			1	28		29	
家 族 歴		1					1	1		2	1	3	
総 計 A（①+②+③）	4	5		8	3	84	135	103	96	143	103	342	
重複所見調整 B	1	2		2		17	11	16	20	13	16	49	
要管理者実人数（A－B）	3	3		6	3	67	124	87	76	130	87	293	
指導区分別合計		6		9			278			293			